

SAGA2020 SSP杯 佐賀県高等学校スポーツ大会 ボクシング競技 実施要項

1. 期日・会場

(1) エントリーチェック 令和 2年 7月18日(土) 9:00～
組み合わせ抽選 SAGA サンライズパーク ボクシング場
監督会議 住 所 佐賀県佐賀市日の出
0952-32-2131

(2) 開会式 新型コロナウイルス対策のため中止とする。

(3) 健診計量・競技 健診計量 令和 2年 7月19日(日) 9:00～
競技開始 令和 2年 7月19日(日) 12:00～

(4) 表彰式・閉会式 新型コロナウイルス対策のため中止とする

2. 階 級 ピン級からミドル級までの8階級とする。

3. 競技規則

(1) 競技規則 (一社)日本ボクシング連盟競技規則による。

(2) 競技方法

ア) 個人戦とするが、学校対抗を兼ねる。

イ) 1試合3ラウンド(1ラウンド2分)

ウ) トーナメント方式で行い、優勝・準優勝・3位を決定する。

(3) 得点規定

ア) 原則として、抽選の不戦勝を除いて、1勝ごとに勝ち点1を与える。

イ) 優勝には5点・準優勝には3点・3位には1点を与える。

(4) 学校対抗順位決定方法

ア) 個人得点の合計点で決定する。

イ) 同点の場合は、優勝者の数による。

ウ) ア)・イ)でも同点の場合は、準優勝者の数による。

エ) ア)・イ)・ウ)でも同点の場合は、3位の数による。

オ) ア)・イ)・ウ)・エ)でも同点の場合は、同位とする。

4. 組み合わせ

エントリーチェック終了後、佐賀県高体連ボクシング専門部専門委員にて抽選を行う。

5. 引率・監督

引率責任者は当該校の職員、また当該校校長の認める学校の職員とする。

6. 参加資格

- (1) 選手は佐賀県高体連に所属している生徒で、本競技実施要項により、参加資格を満たしている者に限る。
- (2) (一社)日本ボクシング連盟に登録後6ヶ月経過し、指導者が出場可能と認めた生徒であること。また、登録後6ヶ月未満であっても、中学時代を含め練習期間が半年以上経過しているものについては、従来の手続きで出場できる。
- (3) 平成14年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場回数は同一競技3回までとし、同一学年の出場回数は1回限りとする。
- (4) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。
- (6) 転向後6ヶ月未満の者は、参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、所属高体連会長の許可があれば、この限りではない。
- (7) 選手は、本年度の総合健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。総合健診については選手手帳の本年度分「健康診断記録」に必要事項が記載され、医師の著名捺印がされていること。一般診療以外に受診しなければならない総合健診の内容は以下のとおり。
 - ①血液、尿検査は年一回実施していること。
 - ②心電図、レントゲンは以下の節目に実施していること。ボクシング開始時、中学・高校の各入学時
 - ③CT スキャン (またはMRI) の実施済みの証明書で頭蓋内病変、及びボクシング競技に支障のない、くも膜脳胞のない証明を受けていること。
(2014年度版選手手帳に明記、または証明書添付していること。)
- (8) 選手は、選手手帳を携帯すること。不携帯や記載等に不備がある場合は出場させない。
(表紙に写真を貼る。新規手帳の場合は前の手帳も合わせて携帯する。)
途中で記入欄がなくなった場合は失格となる。
- (9) 参加資格の特例による学校の参加については、佐賀県高等学校体育大会開催基準要項のとおりとする。
- (10) 参加選手は(一社)日本ボクシング連盟へ令和2年度の登録済みであること。

7. 参加人員

男子は1校につき各階級3名以内とする。

8. 参加申込

(1) 申込締切日 令和 2年 7月 3日 (金) 正午 (厳守)

(2) 申 込 先

〒849-2101 佐賀県杵島郡大町町大町 2039 佐賀県立白石高等学校 商業科キャンパス
佐賀県高等学校体育連盟 ボクシング専門部 専門委員長 森田 隆宏
電話：0952-82-3241 Fax：0952-71-3008 携帯：090-3199-8562

(3) 申 込 方 法 所定の参加申込書により1部作成し、上記申し込み先へ提出する。

※個人情報に関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

9. 表 彰

団体 3位まで 個人 3位まで

10. 備 考

- 組合せ抽選を行う際、第1シード・第2シード選手を設ける。
- 各階級の1位の選手がインターハイの出場権を獲得する。1階級のエントリーが8名を超えた場合は、予選会を行う。
- ヘッドガードはAIBA及び日連の検定品で、競技者所有のヘッドガードの使用を認める。なお、競技者はコーナーカラー（赤・青）のものを着用しなければならない。グローブは大会本部で用意する。カッププロテクター等はチームまたは各自で持参すること。ハイカットタイプは禁ずる。
- ユニホームはコーナーカラー（赤：pantone185、199、485・青：pantone286、293、661）に限る。ベルトラインは白またはトランクス、ランニングとはっきりと違う色で6cm～10cm幅でなければならない。
- 赤色または赤に類する色のガムシールドの使用は禁ずる。
- 計量は、パンツ（スパッツは認めない）以外は裸で行い、選手が希望すれば、全裸で計量器に乗ることができる。（ただし、計量は1回のみとする。）
- 視力は、0.1を超えなければならない。ただし、ソフトコンタクトレンズを使用しての矯正視力は両眼とも0.4以上なければならない。（着用者は、必ず点呼時に届け出しなければならない。）
- ①毛髪等については「一般社団法人日本ボクシング連盟医事ハンドブック第5章 毛髪」を厳守すること。
 - ア. 頭髪：長さは眉、耳たぶ、首筋を超えてはならない。額にかかった長髪は視界を妨げるばかりではなく、眼球を傷つけることがある。
 - イ. あご髭：クリンチや衝突で相手の眼球を傷つけ、危険をもたらすとして禁止されている。同様に口ひげや無精ひげも認められない。
- ②刺青については「一般社団法人 日本ボクシング連盟医事ハンドブック第5章 刺青」を厳守すること。刺青に関しては、その大小、場所を問わず、またシールによるものであっても出場における資格を失う。
- 健診時には、事前に配布する「健康申告書」に必要事項を記入し、提出すること。
- 競技中の疾病、負傷の応急処置は主催者側で行うが、以降の責任は問わない。
- 大会に参加する選手は必ず引率責任者によって引率されるものとし、その引率責任者は選手のすべての行動に対し責任を負うものとする。

11. コロナ対策

- ① 開会式・閉会式は中止とし、競技は日程どおりの開催とする。
- ② 大会参加者（競技者以外の選手・役員・補助員）は、基本的にマスクを着用することとする。
- ③ 7月1日（水）ら別紙健康管理カードに、朝の体温と体調を記入し、エントリーズチェックの際確認を受ける。
- ④ エントリーズチェック及び毎朝の検診について、特に体温が 37.5℃以上の場合は再検査をせず、失格として速やかに帰宅する。（過去の健康観察簿の記録において、ドクター判断にて失格とすることもある）
- ⑤ 競技は無観客（試合のある選手の保護者のみ名簿提出により可とする）とし応援も認めない。
- ⑥ 競技者以外はマスク着用すること。（審判・セカンド等も）
- ⑦ 競技者のアップはシャドー等のみを屋外で行う。
- ⑧ 人と人との適切な距離を保ち、手洗いうがいを適切に行い、咳エチケットに努める。
- ⑨ セカンドは2名以内とし、マスクをし、それぞれ使い捨ての手袋の着用をする。
- ⑩ 競技中のインターバルは、うがいのみとし、セカンドと競技者の距離をとること。
- ⑪ 競技終了後は、使用したヘッドギア、グローブについて、セカンドが消毒等を行う

12. 問合せ先

〒849-2101 佐賀県杵島郡大町町大町 2039 佐賀県立白石高等学校 商業科キャンパス
佐賀県高等学校体育連盟 ボクシング専門部 専門委員長 森田 隆宏
電話：0952-82-3241 Fax：0952-71-3008 携帯：090-3199-8562

